

| | |
|----|---------------|
| 公表 | 事業所における自己評価結果 |
|----|---------------|

| | | | |
|------|-------------|-----|------------|
| 事業所名 | SOU NEXT 高原 | 公表日 | R8年 5月 22日 |
|------|-------------|-----|------------|

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---------|----|---|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 0 | ・広いスペースで児童がのびのびと過ごせる環境になっている。 ・児童がその場所に集中し、けがにならないように部屋を分けたり工夫を行っている。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 0 | ・基準配置をしっかりと満たして運営している。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 1 | ・部屋が何個かあるため、クールダウンを行うために個別で部屋を使用したり、集中する活動の際（SST・みらスタ）には、小さい部屋の空間を使用している。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | 0 | ・毎日、朝に掃除する時間を設けているほか、児童が帰った後に掃除機をかけている。活動別に部屋を分けており児童が集中できる空間づくりに取り組んでいる。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | 0 | ・集中して学習ができる個室や気持ちをクールダウンするための個室がある。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 5 | 0 | ・毎日ミーティングを行っている。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 0 | ・全保護者の意向等を把握するためにアンケート回答の促しを何度か行っている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 0 | ・毎日の朝のミーティングや週に1回のビジョン会議などで意見をそれぞれ出し合っている。 ・部長面談等を通して、随時お話しする時間が設定されている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | | ・外部評価を行う機会があり業務等の確認は年2回。そのほか、施設・療育等の外部評価は少ないの増やしていくことも検討していく。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | 0 | ・週に一回会社全体で30分~45分程度zoomでミーティングを行っている。その際に、研修だったり受ける機会がある。また、外部の研修も受講したい意思を伝えたと、受講する機会がもらえる。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | 0 | ・ホームページにて公表している。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 5 | 0 | ・子どもだけでなく保護者との連携を密に行い保護者ニーズも踏まえた支援計画が作成されている。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | 0 | ・当該児童について職員全員で情報共有する場を設けている。 ・支援計画を作成した際には、全スタッフに共有し、共通理解をしっかりと行っている。 | もっとLab内でケースカンファ等を開いて児童に関する意見交換会を実施したい。皆が共通認識、統一した支援に近づけるように。 |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | 0 | ・支援計画を作成した際には、全スタッフに共有し、共通理解を行ったうえで療育方針の統一化を行っている。 | ・もっと個別支援計画書や専門的支援実施計画書を基にスタッフが意識できるように働きかけたい。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 0 | ・検査の評価だけでなく、日々私たちが見ているその子自身の行動も含めたうえで課題や成長している点を評価している。 | ・自分たちが見ている点だけに集中しやすいため、フォーマルももう少し取り入れていく。 |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|-------------------|--|---|
| 適切な支援の提供 | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | 0 | ・把握した上で適切な人員による専門支援などを行っている。 ・児童の支援を一番に大切にしているもののそこにかかわるすべての支援を行っているように工夫している。また、地域で過ごしていただけるように公園遊びを週に一回取り入れて地域とのかかわりも大切にしている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | 0 | ・職員間で翌月の活動内容を設定している。 | ・自分自身、個別で考えがちであるためもっとスタッフに共有していきたい。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | 0 | ・大まかな活動内容は決まっているが、中身が一緒にならないようにその月でテーマを変えている。また、休みの日は課外活動を間い入れて普段できないような体験ができるように工夫している。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | 0 | ・何かあれば子どもの学校での様子なども確認し事前に職員間で共有し、その日その時の臨機応変な対応を心掛けている。 | ・集団活動が苦手な児童に対しては、個別で行う機会を設けている。しかし、毎日個別で活動する時間を設けられるわけではないので、集団で行うこともあるため、改善していく。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 1 | ・必ず出勤してから朝礼を行っている。本日の活動担当から活動内容の共有が行われ全スタッフが把握できる機会を設けている。また、その時間で対応が変わる際には連絡ツールや口頭での臨機応変に対応している。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 0 | ・子ども1人1人の出来事について日頃から話し合いあらゆる角度からの視点を考慮し最善策を考えてる。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | 0 | ・児童一人一人の個別支援計画書に沿った支援内容を記録している。 ・記録を残すほか、スタッフで共有し、次回の支援や改善につなげる工夫を行っている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | 0 | ・モニタリング日を決めて、見直しや継続するか定期的に行っている。 ・管理者による管理のもと、また他の職員との情報共有や相互理解のもと作成している。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | 0 | 毎回、児童発達支援管理責任者が参加しているが、その前に全スタッフへその児童の状況を聞き、反映している。 | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | 2 | 学校等と一番に連携し、困り感についての共有を行っている。 | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 5 | 0 | 3時間の預かりの中で、児童が多くて3名の受け入れをしており、個別療育を大切にしている。また、行き帰りと保育園へ行くため情報共有を毎回行っている。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 3 | 2 | 今後、移行支援を行う予定 現在は該当なし | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 1 | 4 | 連携を図る機会を設けきれていない。 | ・連携を図る機会を設けきれていないので必要に応じて研修の受講を検討いたします。 | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|--|
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 4 | 1 | 課外活動時に地域の子供たちとの交流がある。 | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | 0 | 日々の支援記録を丁寧に記載し、送迎の申し送り時にも細かくお伝えするよう心掛けている。 | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 2 | | 家族支援は行なっているが研修などの機会が持てていないため必要に応じて実施していく。 |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | 0 | ・契約時に保護者へ説明を行なっている。 | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | 0 | ・保護者へニーズの聞き取りを行い、支援内容に取り入れている。 | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 5 | 0 | ・児童発達支援管理責任者が保護者へ説明を行っている。 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | 0 | ・定期的に家族支援を行なっている。 | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 1 | | ・以前、保護者会を予定していたが案内が遅くなり、保護者会の参加がなくなった。次回は、保護者会の案内を早めに行う。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | 0 | ・月に一度、保護者へアンケートを行っているため、その際に改善があった際には事業所で共有し、改善を行っている。 | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | 0 | ・ホームページ、ブログ、インスタグラム等を利用し、発信している | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | 0 | ・雇用契約時に秘密保持誓約書を締結している。契約時に、SNSの写真掲載について事前にサインをいただいたり、事業所内で児童の写真掲載についてスプレッドシートにまとめている。 | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | 0 | ・トラブルが発生した際には、児童へは、場所を変えて話が入りやすい環境設定を行ったり、保護者の申し送りでは、直接声掛けている。また会えない保護者に対してLINEではなく電話で説明を入れたり意識している。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 5 | 0 | ・役所へ行事内容について共有し、事前に内容について共有・確認を行っている。 | |
| 非常時等の対 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 1 | | |
| | 46 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 5 | 0 | ・年2回の避難訓練を行っている。 | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | 0 | 契約時に、児童発達支援管理責任者がその児童の留意すべき点について保護者と確認を行っている。 | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 0 | ・契約時に、児童発達支援管理責任者がその児童のアレルギーを保護者と確認を行っている。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | 0 | ・安全管理については、週一回の全体のzoomで研修をしたりと安全を考慮した支援を行う環境設定を意識している。 | |

| | | | | | |
|---|----|--|---|---|--------------------------------------|
| 応 | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | 0 | ・周知を行い、家族の緊急連絡先についてもスプレッドシートへ保管している。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | 0 | ・スプレッドシートにて記録し、職員間で共有している。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | 0 | ・年に2回全職員受講している。 |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 5 | 0 | ・契約時に保護者へ説明を行い、了承を得ている。 |